

令和4年度

学校評価 まとめ

千葉市立高等特別支援学校

学校評価アンケート結果 生徒用(89名／92名)

4段階評価		R1	R2	R3	R4年度				R3 ↓ R4 変化
					1年 30名	2年 30名	3年 29名	全体	
No.	評価の観点								
1	作業学習を頑張っている。	3.7	3.8	3.7	3.6	3.6	3.8	3.7	0
2	授業はよくわかる。	3.5	3.4	3.4	3.4	3.5	3.4	3.4	0
3	働くために必要な学習内容が充実している。	3.6	3.6	3.5	3.6	3.7	3.5	3.6	0.1
4	将来働く上で、職業の授業や実習は役立つ。	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	0
5	自分の考えや意見を他の人へ伝えている。	2.9	2.8	2.8	3.2	2.8	2.7	2.9	0.1
6	教育相談(フレッシュタイム等)が充実している。	3.5	3.5	3.2	3.3	3.4	3.3	3.3	0.1
7	学校は安全である。	3.4	3.6	3.7	3.7	3.6	3.8	3.7	0
8	校舎内の施設や校庭は使いやすい。	3.1	3.5	3.6	3.7	3.6	3.7	3.7	0.1
9	先生のあいさつ、言葉づかい、身だしなみは生徒の手本となっている。	3.3	3.5	3.4	3.7	3.7	3.4	3.6	0.2
10	先生は、頑張っていることをほめてくれる。	3.5	3.5	3.6	3.6	3.7	3.6	3.6	0
11	先生から注意を受けたとき、何が悪かったのかどうすればよかったのかがわかる。	3.5	3.5	3.6	3.6	3.6	3.4	3.5	-0.1
12	先生は、話をよく聞いてくれる。	3.7	3.6	3.7	3.7	3.6	3.7	3.7	0
13	先生は、困ったときに助けてくれる。	3.7	3.6	3.7	3.6	3.6	3.7	3.6	-0.1
14	学校は楽しい。	3.2	3.4	3.3	3.4	3.2	3.5	3.4	0.1
15	友達と協力し、仲良く生活している。	3.3	3.4	3.5	3.6	3.3	3.5	3.5	0
16	気持ちの良いあいさつを進んで行っている。	3.1	3.3	3.2	3.4	3.3	3.4	3.4	0.2
17	心を込めて清掃に取り組んでいる。	3.4	3.4	3.6	3.6	3.5	3.6	3.6	0
18	時間を意識して行動している。	3.3	3.3	3.4	3.5	3.2	3.6	3.4	0
19	きまりを守って生活している。	3.4	3.5	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6	0
平均		3.4	3.5	3.5	3.6	3.5	3.5	3.5	0

令和4年度学校評価 生徒アンケート まとめ

1 対象 89/92名(令和5年1月6日～20日実施)

2 考察

生徒アンケート 評価平均3.5(前年度平均3.5)

(1)前年度より高い項目 ()は前年度差(差が大きい順)

・「9 先生のあいさつ、言葉づかい、身だしなみは生徒の手本となっている」 評価3.6(+0.2)

昨年度比較0.2上昇であるが、3年生のみの数値は3.4と1・2年生に比べ低めの評価となっていることが気にはなる。3年生は勝負の実習を経験し、就労するにあたって「9」の項目の大切さを理解し、そういった目で職員を見ていたのではないかと考える。3年生に限らず生徒に最も近い存在である職員が、「働いている人」の手本となって生徒に示していくことが、生徒の就労への意欲や意識を高めていくことにつながる。また、対職員への高い信頼は教育活動の根幹を支えるものであるため、この項目は職員が常に意識して取り組んでいきたい。

・「16 気持ちの良いあいさつを進んで行っている」 評価3.4(+0.2)

昨年度比較0.2上昇しており、生徒のあいさつへの意識の高さが表れている。職業の基礎となる項目であるため、今後も自信をもって挨拶ができるよう継続して指導していきたい。

・「3 働くために必要な学習内容が充実している」 評価3.6(+0.1)

学習内容について概ね充実していると考えているようである。学年別では特に2年生の数値が3.7と高かった。初めての実習を経験し、座学での学習と実習の内容がリンクできたのではないかと考える。授業を行うにあたって、今後も職員は「働くため」ということを常に意識し、単元計画や授業を組み立てていきたい。

・「5 自分の考えや意見を他の人へ伝えている」 評価2.9(+0.1)

本項目は就労を目指す上でとても大切な項目である。この項目は昨年度の反省を生かし、進路学習の事前事後の発表だけでなく、日々の作業学習・教科学習・HRなど、様々な場面で発言できるような場の設定や、その指導法の工夫に取り組んだ結果と考える。数値としてはまだまだ低いので、今後も改善に取り組んでいきたい。

・「6 教育相談(フレッシュタイム等)が充実している」 評価3.3(+0.1)

今年度はフレッシュタイム(校内で話をしたい職員との面談)を計画していた3回実施することができた。職員に相談する機会が持てたことが数値の上昇につながったと考える。しかし昨年度から数値は上がったものの、そこまで高い数値ではない。現にSCのカウンセリングが毎回満員となっていることを考えると、おそらく普段から悩みを抱えていて、相談できていないと考えている生徒が一定数いると思われる。今後もフレッシュタイムに限らず悩み等の相談は随時、担任や学年主任、作業班、養護教諭、管理職などが当たれるようにして行くとともに、SCによるカウンセリングの回数(現在は週1回3コマ)を増やすなど、外部への働き掛けも行っていきたい。

・「8 校舎内の施設や校庭は使いやすい」 評価 3.7(+0.1)

昨年度に改修されたきれいなグラウンドを年度初めから使用でき、使いやすさや使い心地のよさを実感できていたようである。学習環境についても今年度は工事がなく、使うことができた点が数値上昇につながったと考える。

・「14 学校は楽しい」 評価3.4(+0.1)

特に3年生が3.5と評価が高い。今年度は久しぶりに県外への修学旅行、校内行事、県の校外行事にもフルで参加することができるなどすべての行事を行うことができた。入学から感染症予防対策として行事の中止など、我慢を強いられてきた3年生にとって今年は思い出に残る1年になったようだ。感染症の落ち着きは未だ見られないが、今後も感染症対策を講じつつ現状できうる最大限のことをしていきたい。

(2)前年度より低い項目

・「11 先生から注意を受けたとき、何が悪かったのかどうすればよかったのかわかる」 評価 3.5(-0.1)

職員の本意が伝わらないまま注意を受けている生徒がいるということであり、生徒の職員不信になりかねない。また生徒の行動改善にもつながらない可能性があるため、自分がしたことの何がいけなかったのかを納得することができるよう、職員は生徒一人ひとりに応じた注意・声掛けを講じていきたい。

・「13 先生は、困ったときに助けてくれる」 評価 3.6(-0.1)

自分から声をかけられない生徒がいると考えられるので、職員から生徒に積極的に声をかけたり、生徒との関係を日ごろから作ったりすることが必要となる。学級担任・作業班関係なく、学校全体で生徒をサポートしていきたい。

(3)前年度と同値の項目

- ・「1 作業学習を頑張っている」 評価3.7
- ・「2 授業はよくわかる」 評価3.4
- ・「4 将来働く上で、職業の授業や実習は役立つ」 評価3.8
- ・「8 学校は安全である」 評価 3.7
- ・「10 先生は、頑張っていることをほめてくれる」 評価 3.6
- ・「12 先生は、話をよく聞いてくれる」 評価 3.7
- ・「15 友達と協力し、仲良く生活している」 評価3.5
- ・「17 心を込めて清掃に取り組んでいる。」 評価3.6
- ・「18 時間を意識して行動している」 評価3.4
- ・「19 きまりを守って生活している」 評価3.6

「4」が全質問の中で一番高い3.8であった。今年度もコロナ禍で生徒は、社会自立・職業自立を目指す上で、本校の職業の授業や実習の意義を理解し、学習に取り組んだことがうかがえる。また、すべての現場実習を行えたことは生徒たちの就労への意欲、意識を高める結果となったと考える。今後も授業の質の向上や、継続して実習に取り組めるよう教育課程を編成し調整していくことで、生徒の社会自立・職業自立を身に付ける一助となるよう努力していきたい。

学校評価アンケート結果

保護者用(70名/92名)

4段階評価		R2年度	R3年度	R4年度	R3→R4 変化
No.	評価の観点				
1	お子さんは作業学習を頑張っている。	3.8	3.9	3.9	0.0
2	お子さんは授業の内容を理解している。	3.5	3.5	3.5	0.0
3	働くために必要な教育内容が充実している。	3.7	3.7	3.7	0.0
4	職業の授業や実習で、働く意識が高まっている。	3.5	3.6	3.7	0.1
5	お子さんは考えや意見を保護者に伝えている。	3.1	3.1	3.1	0.0
6	教育相談(フレッシュタイム等)が充実している。	3.6	3.3	3.5	0.2
7	学校は安全面に配慮している。	3.7	3.7	3.8	0.1
8	校舎内の施設や校庭は生徒に適している。	3.6	3.4	3.6	0.2
9	職員は、挨拶・言葉遣い・身だしなみ等、生徒の手本となっている。	3.8	3.7	3.8	0.1
10	職員はお子さんの良いところを認め、ほめている。	3.8	3.6	3.8	0.2
11	職員は、注意をするとき何が悪かったのかどうすればよかったのか、お子さんに理解できるように伝えている。	3.7	3.6	3.6	0.0
12	職員は、お子さんの話をよく聞いている。	3.7	3.6	3.7	0.1
13	職員はお子さんが困ったときに適切な支援をしている。	3.7	3.6	3.8	0.2
14	楽しく登校している様子がうかがえる。	3.5	3.7	3.7	0.0
15	下校後や休日等、友達関係は良好である。	2.9	3.0	3.2	0.2
16	気持ちの良い挨拶を進んで行っている。	3.1	3.1	3.4	0.3
17	しっかりと清掃に取り組んでいる。	2.7	2.5	3.7	1.2
18	時間を意識して行動している。	2.9	2.8	3.4	0.6
19	社会のきまりを守って生活している。	3.3	3.2	3.6	0.4
平均		3.4	3.4	3.6	0.2

令和4年度学校評価 保護者アンケート まとめ

1 対象 70/92名（令和5年1月6日～13日実施）

2 考察

保護者アンケート 評価平均3.6(前年度平均3.4)

(1) 昨年度より高い項目 ()は前年度差(差が大きい順)

- ・「17 しっかりと清掃に取り組んでいる。」 評価3.6(1.1)
- ・「18 時間を意識して行動している」 評価3.4(0.6)
- ・「19 社会のきまりを守って生活している」 評価3.6(0.4)
- ・「10 職員は、お子さんの良いところを認め、ほめている」 評価3.9(0.3)
- ・「16 気持ちの良い挨拶を進んで行っている。」 評価3.4(0.3)
- ・「6 教育相談(フレッシュタイム等)が充実している」 評価3.5(0.2)
- ・「8 校舎内の施設や校庭は生徒に適している」 評価3.6(0.2)
- ・「13 職員はお子さんが困ったときに適切な支援をしている」 評価3.8(0.2)
- ・「15 下校後や休日等、友達関係は良好である。」 評価3.2(0.2)
- ・「4 職業の授業や実習で、働く意識が高まっている。」 評価3.7(0.1)
- ・「5 お子さんは考えや意見を保護者に伝えている。」 評価3.2(0.1)
- ・「7 学校は安全に配慮している」 評価3.8(0.1)
- ・「9 職員は、挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、生徒の手本となっている」 評価3.8(0.1)
- ・「12 職員は、お子さんの話をよく聞いている」 評価3.7(0.1)

ほとんどの項目が昨年度を上回っている。特に、「17・18・16」は本校の「学校生活のきまり」にある、「生活の心得」の3つであり、家庭でもしっかりと取り組まれているという評価に定着を感じる。また、「10・13」では高い評価をいただき、今後も生徒の実態・様子をよく見て適切な声掛けを続けていきたい。

(2) 昨年度と数値が変わらない項目(数値の高い順)

- ・「1 お子さんは作業学習を頑張っている。」 評価3.9
- ・「3 働くために必要な教育内容が充実している。」 評価3.7
- ・「14 楽しく登校している様子がうかがえる。」 評価3.7
- ・「11 職員は、注意するとき何が悪かったのかどうすればよかったのか、お子さんに理解できるように伝えている。」 評価3.6
- ・「2 お子さんは授業の内容を理解している。」 評価3.5

「1」について、数値の変化はないが高い評価だった。職業自立に向けて生徒が努力している姿が保護者にしっかりと伝わっていることがわかる。作業学習は本校の根幹をなす学習であるので、今後も充実を図っていきたい。「11」について、生徒はなぜ叱られたのかを納得できておらず、保護者に伝えたものとする。生徒の行動改善につなげるためにも、注意する際はポイントを絞って行うなど丁寧に行ないたい。

(3) 昨年度より低い項目はありませんでした。

学校評価アンケート結果

職員用(40名)

4段階評価		R2年度	R3年度	R4年度	R3→R4 変化
No.	評価の観点				
1	生徒は作業学習に意欲的に取り組んでいる。	3.6	3.7	3.8	0.1
2	生徒は授業の内容をよく理解している。	3.1	3.1	3.3	0.2
3	働くために必要な教育内容が充実している。	3.5	3.6	3.7	0.1
4	職業の授業や実習で、働く意識が高まっている。	3.5	3.5	3.6	0.1
5	生徒は自分の考えや意見を他者に伝えている。	2.8	2.8	3.0	0.2
6	教育相談（フレッシュタイム含）が充実している。	3.4	3.4	3.5	0.1
7	安全指導や安全な環境に心がけている。	3.4	3.5	3.8	0.3
8	校舎内の施設や校庭は生徒に適している。	2.5	2.5	3.0	0.5
9	挨拶、言葉づかい、身だしなみ等、生徒の手本となっている。	3.1	3.3	3.5	0.2
10	生徒の良さを認め、ほめている。	3.1	3.6	3.8	0.2
11	注意をするときは、何が悪かったのか、どうすればよかったのかがわかるように伝えている。	3.4	3.6	3.7	0.1
12	生徒の話をよく聞いている。	3.4	3.7	3.6	-0.1
13	生徒が困った時には、適切な支援をしている。	3.5	3.5	3.6	0.1
14	概ね楽しく登校している。	3.5	3.5	3.7	0.2
15	友達関係は良好である。	3.2	3.3	3.3	0.0
16	気持ちの良い挨拶を進んで行っている。	3.0	3.3	3.4	0.1
17	心を込めて清掃に取り組んでいる。	3.4	3.5	3.5	0.0
18	時間を意識して行動している。	3.5	3.6	3.6	0.0
19	きまりを守って生活している。	3.4	3.5	3.6	0.1
平均		3.3	3.4	3.5	0.1

令和4年度学校評価 職員アンケート まとめ

- 1 対象 40名（令和4年12月22日～1月6日実施）
- 2 考察 職員アンケート 評価平均3.5(前年度平均3.3)

(1)昨年度より高い項目 ()は前年度差(差が大きい順)

- ・「8 校舎内の施設や校庭は生徒に適している」 評価3.0(0.5)
- ・「7 安全指導や安全な環境に心がけている」 評価3.8(0.3)
- ・「2 授業の内容を生徒がよく理解している」 評価3.3(0.2)
- ・「5 生徒は自分の考えや意見を他者に伝えている」 評価3.0(0.2)
- ・「9 挨拶、言葉づかい、身だしなみ等、生徒の手本となっている」 評価3.5 (0.2)
- ・「10 生徒の良さを認め、ほめている」 評価3.8(0.2)
- ・「14 概ね楽しく登校している」 評価3.7(0.2)
- ・「1 生徒は作業学習に意欲的に取り組んでいる」 評価3.8(0.1)
- ・「3 働くために必要な教育内容は充実している」 評価3.7(0.1)
- ・「4 職業の授業や実習で、働く意識が高まっている」 評価3.6(0.1)
- ・「6 教育相談(フレッシュタイム等)が充実している」 評価3.5(0.1)
- ・「11 注意するときは、何が悪かったのかどうすればよかったのかがわかるように伝えている」 評価3.7(0.1)
- ・「13 生徒が困ったときには、適切に支援をしている」 評価3.6(0.1)
- ・「16 気持ちの良い挨拶を進んで行っている」 評価3.4(0.1)
- ・「19 きまりを守って生活している」 評価3.6(0.1)

「8」について、今年度はR4年1月に改修の終わった校庭を年度初めから使用することができた。整地されて水はけがよく、降雨の後でも活用することができた点、さらに今年度のトイレ改修ではビルクリーニング班専用の洗濯室を設置することができた点が数値の上昇につながったと考える。開校10年が経ち、生徒にとって良い学習環境が整ってきたと感じる。

「5」について、昨年度の学校評価の反省から、意図的に学習中に生徒同士の関わりをもたせ、意見を伝えたり、聞いたりする場面を設けた。また、高等学校GIGAタブレットが導入され、新しい発表の手段としても積極的に運用している。タブレット端末(グーグルクローム)のクラスルームを使用したデータの共有や、それらを使った発表に取り組むことで、生徒の発表への関心・意欲の高まりとともに発表の幅を広げることにつながったと考える。今後もタブレット端末の活用方法については検討を重ねていきたい。

「9」について、数値の高さから職員が生徒へ向けて率先して手本を見せるという意識の高さがあったと推察できる。教員が身だしなみ等への意識を高められたことについては、今後も維持していきたい。

(2)昨年度より低い項目

- ・「12 生徒の話をよく聞いている」 評価3.6 (-0.1)

数値としては低くはないのでほとんどの職員が話を聞いているととらえられる。しかし中には時間がとれない状況が続き、低く評価をつけざるを得なかった職員がいたと考える。今年度はコロナ前の行事が開催できたことに伴い、生徒の在校中に行事準備や運営等に時間を割くことが多かった。今後は、行事が立て込んできた時は学級担任以外の職員が担任のフォローに入り、生徒の話を聞けるようにしたり、学校として仕事量のバランスを考えた分掌構成を組んだりしていきたい。

R4 学校評価アンケート結果

三者比較

4段階評価		生徒	保護者	職員
No.	評価の観点（生徒の観点より）			
1	作業学習を頑張っている。	3.7	3.9	3.8
2	授業はよくわかる。	3.4	3.5	3.3
3	働くために必要な学習内容が充実している。	3.6	3.7	3.7
4	将来働く上で、職業の授業や実習は役立つ。	3.8	3.7	3.6
5	自分の考えや意見を他の人へ伝えている。	2.9	3.2	3.0
6	教育相談(フレッシュタイム等)が充実している。	3.3	3.5	3.5
7	学校は安全である。	3.7	3.8	3.8
8	校舎内の施設や校庭は使いやすい。	3.7	3.6	3.0
9	先生のあいさつ、言葉づかい、身だしなみは生徒の手本となっている。	3.6	3.8	3.5
10	先生は、頑張っていることをほめてくれる。	3.6	3.9	3.8
11	先生から注意をうけたとき、何が悪かったのかどうすればよかったのかがわかる。	3.5	3.6	3.7
12	先生は、話をよく聞いてくれる。	3.7	3.7	3.6
13	先生は、困ったときに助けてくれる。	3.6	3.8	3.6
14	学校は楽しい。	3.4	3.7	3.7
15	友達と協力し、仲良く生活している。	3.5	3.2	3.3
16	気持ちの良いあいさつを進んで行っている。	3.4	3.4	3.4
17	心を込めて清掃に取り組んでいる。	3.6	3.6	3.5
18	時間を意識して行動している。	3.4	3.4	3.6
19	きまりを守って生活している。	3.6	3.6	3.6

令和4年度学校評価 三者比較 考察

(1)三者とも高めの評価をしている項目

- ・「1 作業学習を頑張っている」 生徒3.7 保護者3.9 職員3.7
- ・「3 働くために必要な学習内容が充実している」 生徒3.6 保護者3.7 職員3.6
- ・「4 将来働く上で、職業の授業や実習は役立つ」 生徒3.8 保護者3.7 職員3.5

三者とも取組の手ごたえがほぼ一致しているようである。学校教育目標を実現するために、改変と改善を加えてきた教育課程を高く評価していただいたものとする。これで完成ということではなく、これからも見直しと評価・再編成を繰り返して、より生徒の実態に即したものを作り上げていきたい。

- ・「7 学校は安全である」 生徒3.7 保護者3.8 職員3.8

安全が確保されることで安心して学習に取り組めるものである。危険な道具を使う際の約束順守の徹底、道具の整頓、使い方の支援を確実にしている結果であるとする。保護者の方にも実際に見ていただいた上での評価であると受け止めたい。今後も安全と安心を常に心がけて指導に当たっていききたい。

(2)三者で低い評価をしている項目

- ・「5 自分の考えや意見を他の人へ伝えている」 生徒2.8 保護者3.2 職員3.0

低い数値ではあるが、R3年度と比較すると三者ともに評価は上昇している。生徒が長く仕事に就くために必要な力の一つとして、企業の方はコミュニケーション能力を挙げており、卒業までに必ず身に付けておきたい力である(職員アンケート参照)。三者ともに課題としてとらえている点であるので、今後も教育活動全般を通して大事に指導していききたい。

(3)三者で差が大きい評価をしている項目

- ・「8 校舎内の施設や校庭は使いやすい」 生徒3.7 保護者3.6 職員2.5

「職員」2.5に対して「生徒・保護者」3.6であり、「職員」との評価の差が非常に大きい。整地されたグラウンド、新しくなったトイレ等、快適に使用できる環境になってはきたが、やはり校舎の狭さ、教室の不足、備品の老朽化など、教育活動を進めるにあたって職員にとってはまだまだ不満な部分も多くある。関係機関と連携をとって一つ一つ改善を続けていきたい。

- ・「14 学校は楽しい」 生徒3.4 保護者3.7 職員3.7
- ・「15 友達と協力し、仲良く生活している」 生徒3.5 保護者3.2 職員3.3

「生徒」と「保護者・職員」で差があることに注目したい。「保護者・職員」は生徒が学校を楽しんでいると考えているようであるが、生徒はそこまでではない。逆に「保護者・職員」は生徒がそこまで「協力し仲良くしている」とは、考えていないという結果であった。生徒の求める学校の楽しさと大人の考える楽しさ、また「協力して・仲良く」の基準も違いがあると考えられる。生徒の声を聴く機会をしっかりと取って違いを埋められるようにしたい。

- ・「10 先生は、頑張っていることをほめてくれる」 生徒3.6 保護者3.9 職員3.8

三者とも高い数値であるが、「生徒」と「保護者・職員」で差があるところに注目したい。職員はほめているつもりであるが、生徒はそこまで感じていないということがわかる。生徒がほめてほしいと考えているポイントを的確にほめられるよう、生徒の実態を正確に把握していききたい。